

英語科



学習のめあて

- 外国語（英語）を通して、言語や文化に対する理解を深める。
- 外国語（英語）を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。
- 聞くこと・話すこと・読むこと・書くことの実践的コミュニケーション能力の基礎を身に付ける。

アドバイス

【授業の取り組み方】

- 1 英語の力が身に付くかどうかは、どれだけ真剣に授業に取り組むかという姿勢にかかっています。積極的に言語活動に取り組んだり、発言したりしましょう。
- 2 本校は週に2日「ALT＝外国人指導助手」が来てくれます。授業だけでなく、日常の生活の中で積極的に話しかけたり、会話に挑戦したりしてみましょう。生きた英語が身に付きます。

【家庭学習の仕方】

- 1 英語は、積み重ねが大切な教科です。そのため毎日短時間でもよいので、家庭学習（予習・復習）を続けることが大切です。
- 2 授業、そして予習・復習も大切ですが、いかに日頃から英語に接し、親しむかが大きなポイントです。身の回りには探す必要もないくらい英語があふれています。学習と気負わずに、自分が興味のあるもの（例えば映画や歌など）と英語をリンクさせてみてはどうでしょう。

学習の内容

英語は読むこと、聞くこと、話すこと、書くことに分かれます。
ここでは主に文法について示します。

1 年 生	2 年 生	3 年 生
<ul style="list-style-type: none"> ○アルファベット、あいざつ ○be 動詞と一般動詞 ○命令文、否定命令文 ○疑問詞 (how, what, which, who, where, when) ○前置詞 ○代名詞 (主格・所有格・目的格) ○現在進行形 ○助動詞 (can) ○過去形(規則動詞、不規則動詞) 	<ul style="list-style-type: none"> ○過去形(be 動詞) ○過去進行形 ○不定詞 ○未来形 (be going to) ○助動詞(will, must, may, shall) ○接続詞(if, that, when, because) ○There is～. /There are～. ○動名詞 ○比較 	<ul style="list-style-type: none"> ○受動態 ○現在完了 ○S V O C ○It is ～for to… ○後置修飾 (現在分詞・過去分詞) ○間接疑問文 ○接触節 ○関係代名詞 (主格・目的格)